

年頭所感 『住んで良し、働いて良し、訪れて良し』

生涯を完結でききる空の港まち成田へ



成田市長 小泉一成

新年明けましておめでとーございます

市民の皆様には、平成22年の新春を健やかに
かにお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、寅年です。虎は、勇猛果敢な生き物で、
勇気を象徴する動物です。「虎に翼」や「虎に角」
などのことわざがありま
すが、これは元々実力や勢いのある者にさ
らに力や勢いが備わることのたとえに使

れています。市も、寅年にあやかっ
て抱える重要課題に果敢に挑み、さらなる飛
躍の年とする決意です。

さて、今年、市長に就任して4年目に
当たります。私は、一人でも多くの市民の皆
様に直接会って、耳を傾け言葉を交わす現
場主義を引き続き貫き、市民ニーズや市民

生活の課題を把握し、より一層行政サービ
スの向上に努めてまいります。

昨年10月12日、前原国土交通大臣の「羽
田を24時間のハブ空港とし、成田は国際線
の基幹空港、羽田は国内線の基幹空港とい
う位置付けを撤廃する」との唐突な発言に、
私も大変驚きました。

成田空港の歴史を振り返ると、昭和30年
代から世界の空は大量輸送時代を迎え、手
狭な羽田に代わり、成田に新たな国際空港
が建設されることとなりました。建設に当
たっては、多くの地権者に協力をいただき、
激しい反対闘争を乗り越えて事業が進めら
れ、成田空港問題シンポジウムや円卓会議
を通して生まれた「空港と地域との共生」
「空港づくりは地域づくり」という理念を
踏まえ、空港と地域が対話によって今日ま
で歩んできました。

現在、国際線のシェアは羽田の2・4%
に対し、成田は50・4%を占めていること
から、成田の歴史的経緯も含め、あくまで
も国際線の基幹空港は成田であり、補完的
に羽田を活用すべきであると考えています
ので、あらゆる機会を通じて訴えていきま

す。

また、昨年10月22日に2、5000メートル平行滑走路の供用が開始されたことにより、ジャンボ機の離着陸が可能となり、3月には年間発着回数が2万回増加し、22万回となります。

さらに、7月には、成田新高速鉄道が開業し、成田と都心が36分で結ばれることになり、圏央道や北千葉道路などの整備も進められていることから、成田地域における交通アクセスは格段に向上します。

国際空港都市としての成長・発展を

成田の観光PRを図るために、市の観光キャラクターのデザインを公募したところ、全国から1、557点の作品が集まり、市民の投票などによる選考の結果、顔はうなぎで胴体は飛行機という「うなぎくん」に決定しました。今後は、このキャラクターの着ぐるみや関連グッズを作成し、観光大使として活用することで、本市のイメージアップに努めます。「うなぎくん」をかわいがっていただきますようお願いいたします。

また、今年「ゆめ半島千葉国体」が開催され、全国から選手、監督をはじめ多くの大会関係者が成田に訪れます。大勢の市民ボランティアの協力をいただきながら、「さすが成田」と言われるように、おもてなしの心で温かく迎えらるよう万全の体制で臨みます。

今後も地域の共有財産である成田国際空港が日本を代表する空の玄関としてさらに発展するよう空港周辺自治体と連携し取り組んでまいります。

20年にわたる長年の懸案だった新清掃工場整備事業については、昨年工事などの契約を締結し、平成23年度の完成に向けて始動したところです。

また、駅前再開発事業も都市計画決定が完了し、平成25年度完成と目標年度を定めて取り組んでまいります。

世界中で猛威を振っている新型インフルエンザについては、学校行事や各種イベントの開催には感染を防ぐ配慮が必要となつていきます。市では、新型インフルエンザ対策本部体制を継続し、県のインフルエンザ警報発令やワクチン関連など最新の情報を迅速に提供し、市民の感染拡大の防止に努めていきます。

さらに、地域医療の現状については夜から早朝までの一次救急の対応について地元医師会と協議を重ねた結果、成田赤十字病院で医師を確保し、深夜早朝の一次救急を担ってもらうこととなりました。

また、地元医師会も今年から成田市急病診療所で日曜日の診療を担うこととなり、市の救急医療体制の確立が図られました。チェンジを旗印に当選したアメリカのオ

バマ大統領が「正しいと信じる変革」と訴えて一年が経過し、日本でも昨年の衆議院議員総選挙において、劇的な政権交代が起きました。

それに伴い、先ほど触れた「羽田空港の国際ハブ空港化や成田羽田両空港の内際分離の撤廃発言」のように、これまでの制度や政策の見直し、あるいは転換が起きています。

こうした変化を捉え、成田にふさわしい戦略を作り上げていかなければならず、昨年末に立ち上げた「成田版成長戦略会議」が本格的にスタートします。

成田は「遠い」、「不便」といったイメージを払拭するために何をすればよいか

成田ならではの強みを磨きあげることができないか

成田空港がこれからも重要な国際線の基幹空港としての役割を担っていくという将来像を可能な限り明らかにし、地元と共有する

などを検討します。この会議が成田のポテンシャルを最大限に引き出し、成田の成長と発展に結び付くものと確信しています。今年も「住んで良し、働いて良し、訪れて良し」の生涯を完結できる空の港まち成田の実現のため、全力で取り組んでまいります。

市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさついたします。